（保証書付）取扱説明書
上手にご利用いただくために

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。お読みになった後は、必ず保存してください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。

加熱スチーム式加湿器
形名 **AH-75GD**

目次　ページ

株式会社 富士通ゼネラル

安全上のご注意

- ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
- 『警告』『注意』の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

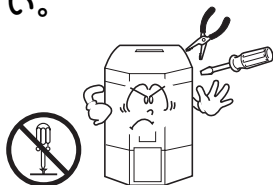
絵表示について

⚠記号は、警告・注意を告げるものです。

⊘記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を示しています。（左図の場合は、分解や修理・改造の禁止）

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を示しています。（左図の場合は、電源プラグを抜いてください）

⚠警告

改造はしないでください。修理技術者以外の人は、分解や修理はしないでください。

火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

お手入れの際は必ず電源プラグ、マグネットプラグを抜いてください。

感電やケガをする原因となります。

幼児の手のとどく範囲で使用しないでください。

感電・やけど・ケガ・部品を誤飲する原因となります。

定期的に電源プラグ、マグネットプラグ、プラグ受けのホコリを取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

スチーム吹出しノズル・吸気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れないでください。

感電や異常動作してケガをする原因となります。

水につけたり、水をかけたり、本体に直接給水したりしないでください。

ショート・感電の原因となります。

電源プラグ、マグネットプラグは根元まで確実に差し込んでください。

感電・やけど・ショート・発煙・発火の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・やけど・ショート・発煙・発火の原因となります。

次ページへつづく

⚠警告

定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する原因となります。

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

交流 100V 以外では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

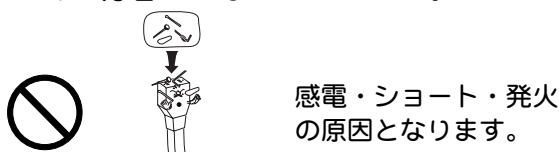
加熱槽などのお手入れに塩素系・酸性タイプ、アルカリ性の洗浄剤、クエン酸等の加湿器用洗浄剤は使用しないでください。

加熱槽に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり、水漏れの原因となります。

乳幼児が誤ってマグネットプラグをなめないように注意してください。

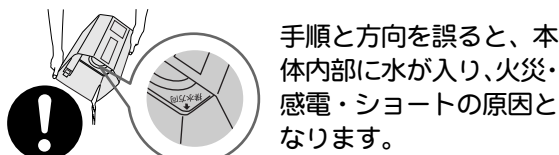
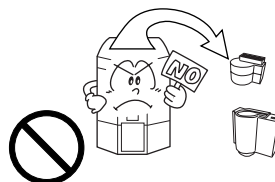
感電・やけど・ケガの原因となります。

マグネットプラグ・プラグ受けにピンやゴミを付着させないでください。

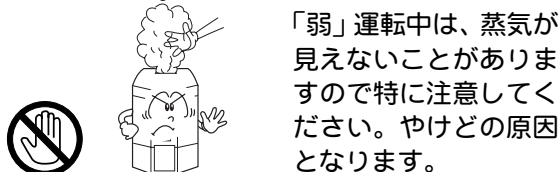
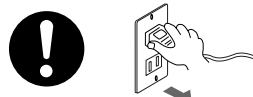
感電・ショート・発火の原因となります。

ぬれた手で電源プラグ、マグネットプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

排水するときはタンク・スチーム吹出しノズル・送風ガイド・水あか除去カートリッジ・水あかとりフィルターを取り出して、表示している排水方向に排水してください。

手順と方向を誤ると、本体内部に水が入り、火災・感電・ショートの原因となります。

スチーム吹出しノズルや送風ガイドをはずしたまま使わないでください。

床をぬらしたり、やけどや故障の原因となります。

運転中や停止直後は高温の蒸気が出ますので、吹出口に顔や手などを近づけないでください。

「弱」運転中は、蒸気が見えないことがありますので特に注意してください。やけどの原因となります。

異常時（焦げ臭いにおい・水漏れなど）は、運転を停止して電源プラグを抜いてください。

火災・感電の原因となります。運転を停止して、お買上げの販売店または、当社サービス窓口にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

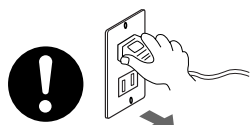
使用中や使用直後は、持ち運ばないでください。

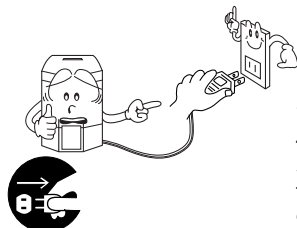
熱湯がこぼれ、やけどの原因となります。

不安定な場所には置かないでください。

転倒すると熱湯がこぼれます。幼児の近くや不安定な場所で使わないでください。やけどの原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因となることがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となることがあります。

倒したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。倒したまま電源を入れないでください。

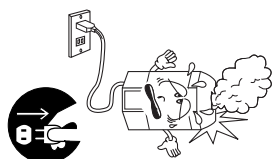
やけどや故障の原因となることがあります。

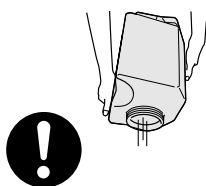
落としたタンクや本体は、そのまま使わないでください。

そのまま使うと、破損箇所から水漏れしてショート・感電・発火の原因となることがあります。

使用中や使用直後は、お手入れをしないでください。

高温部に触れ、やけどの原因となることがあります。

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。

やけど・故障の原因となることがあります。

凍結の恐れのあるときは、タンクと本体内の水を捨ててください。

タンクが破損して床をぬらしたり、水漏れして故障の原因となることがあります。

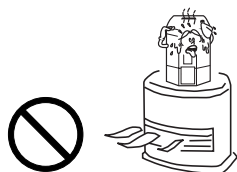
湿度の高いところ（85％以上）では使わないでください。

湿度が高くなると床をぬらしたり、故障や感電の原因となることがあります。

熱に弱いテーブルや台の上、熱に弱い敷物の上では使わないでください。

本体底部の熱により、変色や変形の原因となることがあります。

⚠注意

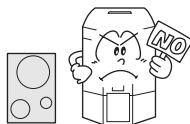
暖房器具やテレビなどの電化製品の上に置かないでください。

転倒して水がこぼれたり、水漏れすると感電・ショートの原因となることがあります。

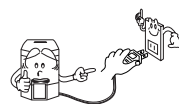
お手入れ後は、部品を確実に取り付けてください。

やけど・故障の原因となることがあります。

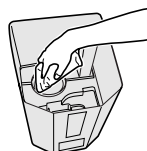
知っておいていただきたいこと

加湿しすぎないでください。連続運転時は湿度が上がり、窓や押入れなどが結露することがあります。暖房を止めた後や、おやすみのときはご注意ください。

電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多い所で使用しないでください。誤動作の原因となります。

持ち運ぶときは、ハンドルの中央を持って静かに運んでください。

この商品専用のコードセットをお使いください。また、他の商品へは転用しないでください。専用のコードセットを使わないと故障の原因となります。

給水は運転を停止し、器具が冷えてから行ってください。運転中や停止直後は、タンクや本体が高温になっており、やけどの原因となります。

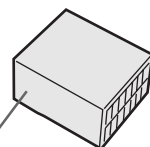
水道水以外は使わないでください。40℃以上のお湯や油・化学薬品・芳香剤・汚れた水・洗剤、アルカリイオン水などを入れると、変形や故障の原因となります。

加熱槽・送風ガイド・タンク・水あか除去カートリッジ・水あかとりフィルターのお手入れをしてください。加熱槽に水あかなどが付着したまま使用を続けると、安全装置が作動したり、故障の原因となります。また、付着した水あかを放置しておくと、固着して取れなくなりますので、1週間に1回以上お手入れしてください。

（詳しくは、「部品の取り外し方」13ページ「お手入れのしかた」14 ～ 16ページ参照）

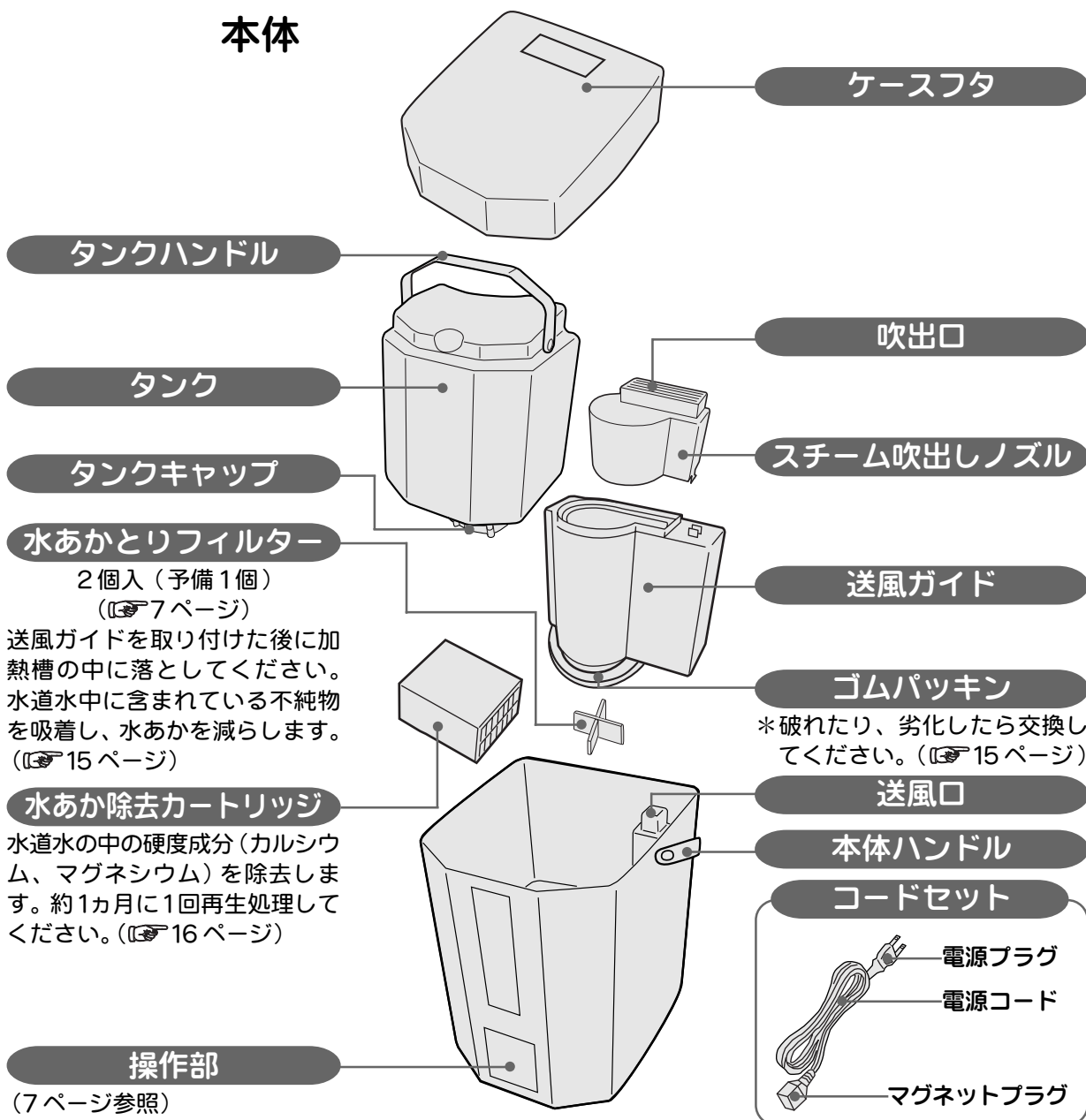
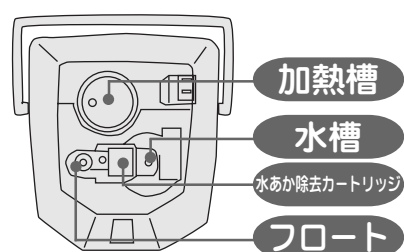
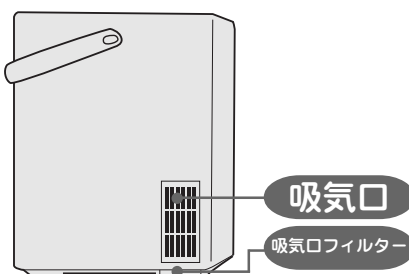
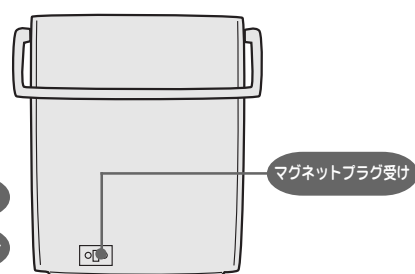
ハンドルについて

- ●本体のハンドル及びタンクのハンドルを持って振り回さないでください。ハンドルが折れたり、外れたりして思わぬ被害を招くことがあります。
- ●ハンドルを動かすときに、フタや本体のスキ間にはさまれないように注意してください。
- ●本体のハンドルは前側に倒さないでください。（ハンドルは前側に倒れない構造になっています。無理に倒すと破損します）

お願い（水あか除去カートリッジについて）

- ●1シーズン（約6ヵ月）ご使用後に1回程度交換してください。
- ●取り付けるときは確実に取り付け場所に入れてください。故障の原因となりますので、誤って加熱槽に入れないでください。
- ●分解したり、網の部分をつっついて破らないでください。中に入っている粒状の樹脂が出て、故障の原因となります。
- ●中に入っている粒状の樹脂は食べられません。乳幼児が誤って食べないように十分注意してください。

水あか除去カートリッジ
（詳しくは、「水あか除去カートリッジのお手入れ」16ページ参照）

各部の名前と働き

本体
ケースフタ
タンクハンドル
吹出口
タンク
スチーム吹出しノズル
タンクキャップ
水あかとりフィルター
2個入（予備1個）
（☞7ページ）
送風ガイドを取り付けた後に加熱槽の中に落としてください。水道水中に含まれている不純物を吸着し、水あかを減らします。（☞15ページ）
送風ガイド
ゴムパッキン
＊破れたり、劣化したら交換してください。（☞15ページ）
水あか除去カートリッジ
水道水の中の硬度成分（カルシウム、マグネシウム）を除去します。約1ヵ月に1回再生処理してください。（☞16ページ）
送風口
本体ハンドル
コードセット
電源プラグ
電源コード
マグネットプラグ
操作部
（7ページ参照）
本体内部
側面
背面
加熱槽
水槽
水あか除去カートリッジ
フロート
吸気口
吸気口フィルター
マグネットプラグ受け

操作部

設定湿度表示ランプ
設定した湿度を表示します。
（☞10 ページ）

お手入れランプ
お手入れ時期になると点灯します。
（☞11 ページ）

切タイマーランプ
切タイマー運転中に点灯します。
（☞11 ページ）

切タイマースイッチ
切タイマー時間を設定します。また、お手入れランプのリセット（解除）スイッチを兼用しています。
（☞11 ページ）

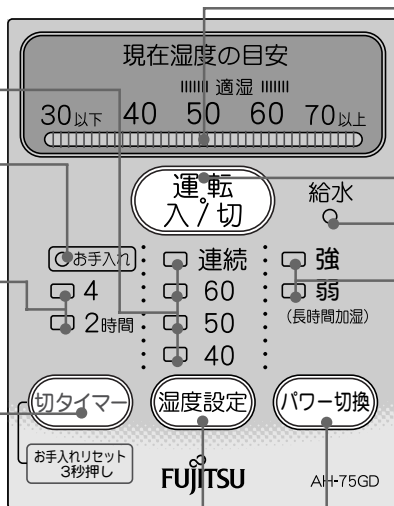
湿度設定スイッチ
お好みの湿度または連続運転を選びます。
（☞10 ページ）

現在湿度の目安
室内の湿度の目安を表示します。
（☞10 ページ）

運転スイッチ
運転の「入」「切」を行います。
（☞9 ページ）

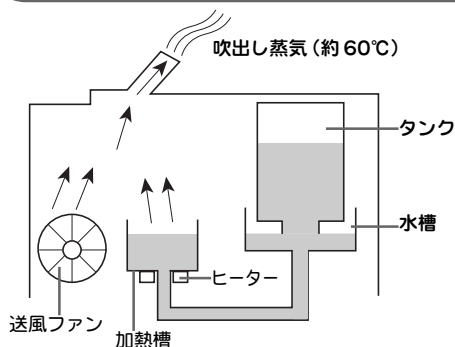
給水ランプ
タンク内の水がなくなると、点灯します。
（☞12 ページ）

パワー切換ランプ
「強」「弱（長時間）」運転を表示します。
（☞12 ページ）

パワー切換スイッチ
「強」「弱」運転を切り換えます。
（☞12 ページ）

付属品

水あかとりフィルター（予備用）1個

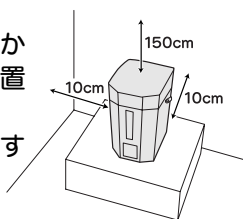
●工場出荷時には、加熱槽の中に入れてあります。それ以外に予備用として、電源コードセットのポリ袋の中に同梱してあります。

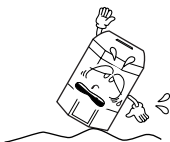
加熱スチーム式加湿器の原理について

●水をヒーターで加熱し､沸騰させた蒸気を送風ファンによって冷やしながら吹き出します。室内の温度・湿度によっては蒸気が見えない場合もありますが､タンクの水が減っていれば正常に加湿しています。

●水を蒸発させるため､水道水の中の不純物が濃縮されて水あかとして残ります。そのため､定期的にお手入れを行ってください。

使い方

設置場所について

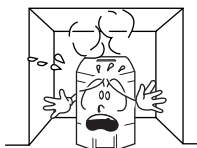
■丈夫で水平な場所に設置してください。
■壁から10cm以上、天井から150cm以上離して設置してください。
＊蒸気で壁や天井が変色する恐れがあります。

次のような場所には置かないでください

■棚などの高い場所や傾いた不安定なところ、毛足のあるカーペットや布団の上など

⚠警告

不安定な場所に置かないでください。

●転倒すると熱湯がこぼれます。幼児の近くや不安定な場所で使わないでください。やけどの原因となります。

■直射日光の当たる場所、暖房器具の上や近く

■蒸気が家具、壁、カーテン、天井などに直接当たる場所

お知らせ

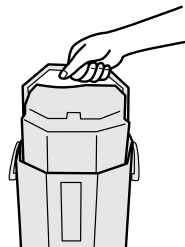
●加熱蒸気で加湿する方式なので沸騰音がしますが、異常ではありません。
●室内の温度・湿度によっては蒸気が見えにくい場合があります。
●蒸気が出るまで、約２～３分かかります。
●運転中にケースフタや本体の内側、タンク等に水滴が付くことがありますが、器具の温度上昇によるもので異常ではありません。
●加湿をしすぎると、結露によって壁などにシミやカビが発生する原因となりますので気をつけてください。
●使い始めに加熱槽の内面に熱による色ムラが発生することがありますが、異常ではありません。

お知らせ

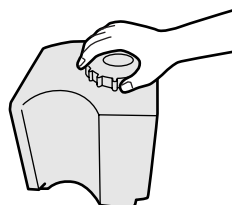
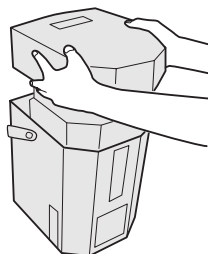
●お手入れせずに使いつづけると、加熱槽や送風ガイドに溜まった水あかが固まって、安全装置が働いたり、故障の原因となります。

正しい使い方

1 タンクに水を入れる。

①ケースフタを外して、タンクを取り出す。

②タンクキャップを外して、新しい水道水を口元まで入れる。

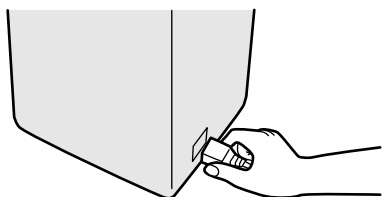
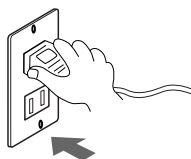
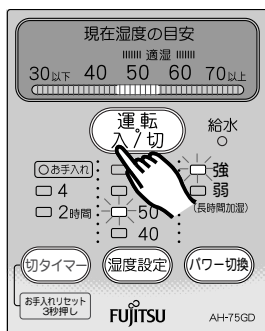
タンクの水は毎日新しい水に交換してください。

③給水後、ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝に付いていることを確認し、タンクキャップを締める。

④タンクを本体にセットして、ケースフタをかぶせる。

お願い

●必ず水道水をお使いください。
●お湯（40℃以上）や汚れた水、洗剤、化学薬品、芳香剤、油、アルカリイオン水などを入れないでください。
●本体に直接、水を入れないでください。
●スチーム吹出しノズルが送風ガイドにきちんとはまっていることを確認してください。
●水漏れがないことを確認してください。
●タンクに付いた水は拭き取ってください。

●室内の温度・湿度によっては蒸気が見えにくい場合があります。
●蒸気が出るまで、約２～３分かかります。

2 運転する。

①マグネットプラグを本体背面のプラグ受けに接続する。

②電源プラグをコンセントに差し込む。

③運転スイッチを押す。

●運転切換ランプ「強」が点灯します。
●設定湿度ランプ「50」が点灯します。
●現在湿度の目安ランプは、５秒後に点灯します。

⚠警告

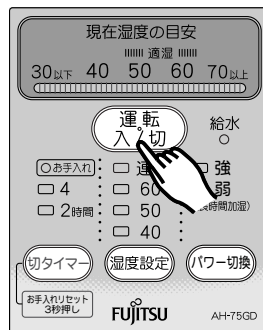
電源プラグ、マグネットプラグは根元まで確実に差し込んでください。

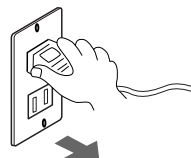
●差し込みが不完全だったり、傷んだプラグ、ゆるんだコンセントを使用すると感電や発熱による火災の原因となります。

交流 100V 以外では使用しないでください。

●火災・感電の原因となります。

3 運転を止める。

①運転スイッチを押す。

●すべてのランプが消灯します。
●運転スイッチを「切」にした後も、本体の温度を下げるために送風ファンが約20分間動いています。

②電源プラグを抜く。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグ、マグネットプラグを抜かないでください。

●感電の原因となります。

⚠警告

運転中や停止直後は高温の蒸気が出ますので、吹出口に顔や手などを近づけないでください。

●やけどの原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜いてください。

●コードを持って抜くと、ショート・感電・発火の原因となることがあります。

使い方つづき

湿度設定をするとき

＊ **運転スイッチを「入」にした後、湿度設定スイッチでお好みの湿度を選ぶ。**

●湿度設定スイッチを押すごとに次のように切り換わります。

「60」・「50」・「40」を選んだとき

●湿度センサーの働きで設定の湿度以上になると、自動的に停止し、湿度が下がると再び運転を行います。このため、蒸気が出ないことがあります。

「連続」を選んだとき

●部屋の湿度に関係なく連続で加湿します。ただし、お部屋の湿度が極端に高いとき（約90%以上）には安全回路が働いて停止します。

お知らせ

●給水ランプが点灯しているときは、給水してから設定してください。
●お部屋の壁材・床材の吸湿性が高い場合、また乾燥状態にある場合は、湿度が上がりにくくなります。
●運転スイッチを「切」にした後や停電があったとき、及び電源プラグを抜いた後に再び運転すると、湿度設定は「50」に戻ります。

現在湿度の目安表示について

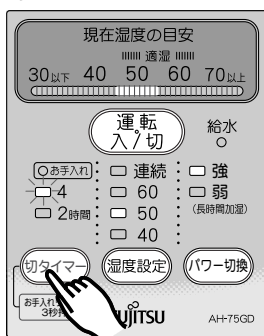
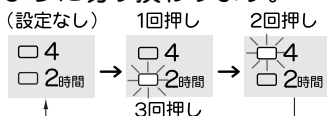
●現在湿度の目安を表示します。
●電源を入れ、運転スイッチを押してから５秒後から点灯します。
●同じ部屋でも場所により湿度が異なることがありますので、他の湿度計と指示差が出ることがあります。
●使い始めは、本体内部の結露などで高い湿度表示になることがあります。10～20分運転すると正常になります。

表示の範囲（目安表示と実際の湿度）

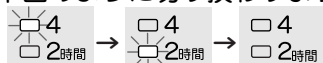
目安表示	30以下	40	50	60	70以上
実際の湿度	39%以下	40～49%	50～59%	60～69%	70%以上

タイマー運転をするとき

＊ 運転スイッチを「入」にした後、切タイマースイッチでお好みの時間を選ぶ。

●お手入れランプが点灯しているときは、切タイマースイッチは使用できません。（次項の「お手入れランプが点灯したら」をご覧ください。）

●切タイマースイッチを押すごとに次のように切り換わります。

※設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。

（例）４時間タイマーの場合

●時間の経過とともに切タイマーランプが下図のように切り換わります。

●設定時間が経過すると、すべてのランプが消灯し、自動的に加湿運転が停止します。（加湿が停止した後も、本体の温度を下げるために送風ファンが約20分間動いています。）

タイマー運転を解除するとき

＊ 切タイマースイッチを押して、切タイマーランプを消灯させる。

●タイマー運転から通常運転に切り換わります。

お知らせ

●タイマー運転中にタンクの水がなくなると、タイマー運転は終了します。
●給水ランプが点灯しているときは、給水してから設定してください。

お手入れランプが点灯したら

お知らせ

●お手入れせずに使いつづけると、加熱槽や送風ガイドに溜まった水あかが固まって、安全装置が働いたり、故障の原因となります。

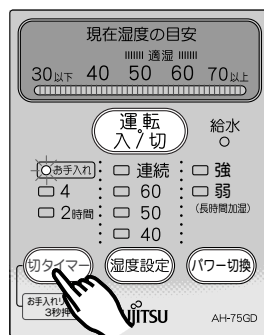
お手入れランプ：加湿時間が連続加湿で60時間相当に達すると、点灯しお手入れ時期の目安をお知らせします。

●使用する水道水の水質によっては、お手入れランプが点灯する前に水あかが付着する場合がありますので、その場合は早めにお手入れしてください。

お手入れランプの解除

●本体内部をお手入れしたら、お手入れランプを解除してください。

＊ 運転スイッチを「入」にして、運転している状態でリセットスイッチ（切タイマースイッチ）を３秒以上押し続ける。

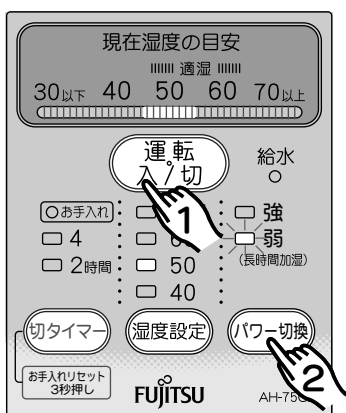
●お手入れランプが消灯します。

（３秒以上押す）

●リセットスイッチは切タイマースイッチと兼用しています。
●お手入れランプ点灯中は、切タイマーは使用できません。

使い方つづき

パワー切換をするとき

＊ **運転スイッチを「入」にした後、パワー切換スイッチで加湿量を「弱（長時間加湿）」にする。**

●運転スイッチを「入」にしたときは、「強」が点灯しています。

●運転切換スイッチを押すごとに「強」「弱（長時間加湿）」が切り換わります。

「強」「弱」のときの運転時間と加湿量（1時間当たり）

強	弱 （長時間加湿）
約7.2時間 750mL／時	約15時間 360mL／時

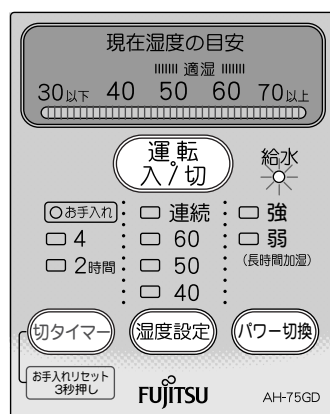
＊タンクの中の水が満水で、連続運転した場合

お知らせ

●給水ランプが点灯しているときは、給水してから設定してください。

使用中にタンクの水がなくなったとき

お知らせ

●タンクに水がなくなると、自動的に加湿を停止して給水ランプでお知らせします。
●続けて使うときは、給水してください。

お願い

●本体の中には熱湯が少し残っていますので、倒したり、傾けたりしないでください。

水たれにご注意ください

●使用後（タンクに水を補給するときなど）フタを開けると、内側に結露した水がたれることがあります。また、タンクを取り出すときにタンクに結露した水がたれることがあります。

お知らせ

●水を補給してタンクをセットした後、給水ランプが消えるまで1～2分かかります。（水を少しずつ加熱槽に送るためです）また、蒸気が出るまでには、それから2～3分かかります。（水を沸騰させるためです）
●給水ランプが点灯しても、本体の温度を下げるため、送風ファンが約20分間動いています。

お手入れのしかた

お知らせ

●お手入れせずに使いつづけると、加熱槽や送風ガイドに溜まった水あかが固まって、安全装置が働いたり、故障の原因となります。

部品の取り外し方

●以下の順に取り外してください。取り付けるときは、逆の順で取り付けてください。

⚠警告

お手入れの際は、必ず電源プラグ、マグネットプラグを抜いてください。

●感電やケガをする原因となります。

ぬれた手で電源プラグ、マグネットプラグを抜き差ししないでください。

●感電の原因となります。

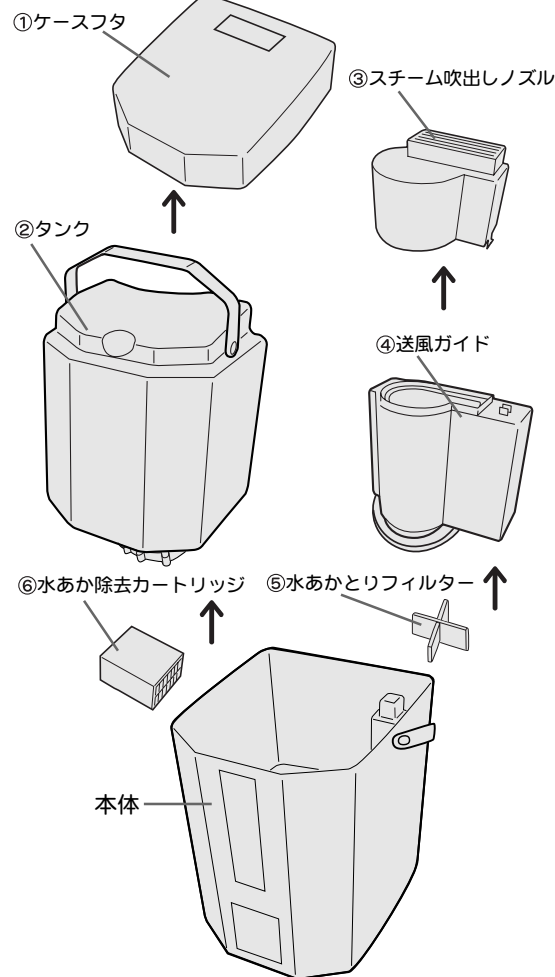
⚠注意

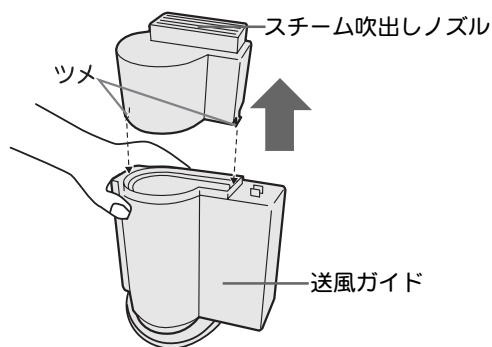
使用中や使用直後は、お手入れをしないでください。

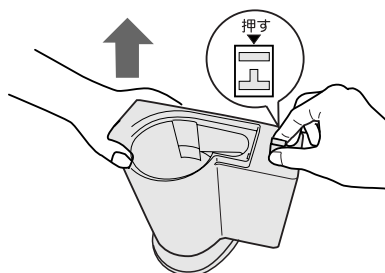
●高温部に触れ、やけどの原因となることがあります。

お手入れ後は、部品を確実に取り付けてください。

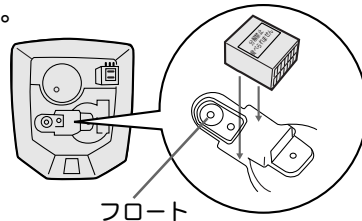
●やけど・故障の原因となることがあります。

①ケースフタを外す。
②タンクを取り出す。
③スチーム吹出しノズルを外す。
④送風ガイドを外す。
⑤水あかとりフィルターを取り出す。
⑥水あか除去カートリッジを外す。

スチーム吹出しノズルの取り外し方

●送風ガイドを押さえて、スチーム吹出しノズルを持ち上げると外れます。

送風ガイドの取り外し方

●ツメを押しながら上に持ち上げます。

※取り付けるときは、ツメ部に合わせて装着します。

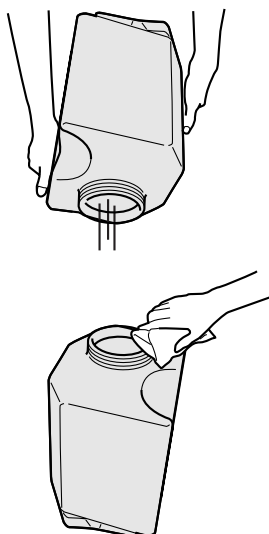
水あか除去カートリッジの取り外し方

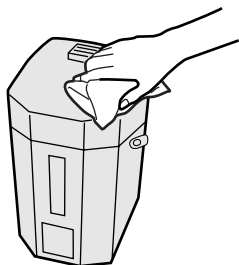
●水あか除去カートリッジを持って上に引き上げます。

お手入れのしかたつづき

日常のお手入れ

タンクの水は毎日新しい水に交換してください。

タンクのお手入れ

●タンク内の残り水を捨て、柔らかい布で内部の汚れを拭きとります。

本体のお手入れ

●柔らかい布で拭いてください。
●汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を布につけて拭きとり、からぶきしてください。

お願い

●変質・変形防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ性洗剤、クレンザーなどは使わないでください。
●化学ぞうきんを使うときは、その注意書に従ってください。

1週間に1回以上お手入れ

お手入れランプが点灯していなくても、加熱槽・水槽・送風ガイド・水あかとりフィルターは、1週間に1回以上お手入れしてください。

⚠警告

排水するときは、タンク・スチーム吹出しノズル・送風ガイド・水あか除去カートリッジ・水あかとりフィルターを取り出して、表示してある排水方向に排出してください。

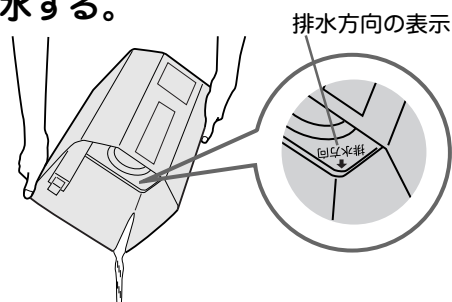
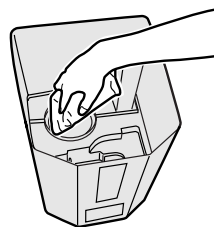
●手順と方向を誤ると、本体内部に水が入り火災・感電・ショートの原因となります。

加熱槽のお手入れに塩素系・酸性タイプ・アルカリ性の洗浄剤及び市販の加湿器用洗浄剤やクエン酸等は使用しないでください。

●加熱時に洗浄剤が残り有毒ガスが発生したり水漏れの原因になります。

詳しくは、13ページの「部品の取り外し方」をご覧のうえ、お手入れしてください。
●水が蒸発すると残留物が本体内に付着し、放置しておくと、固くなって取れなくなります。

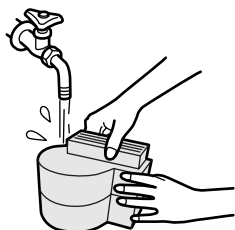
加熱槽・水槽のお手入れ

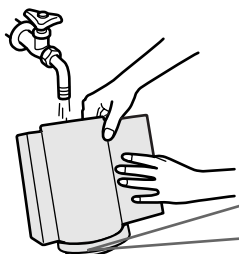
1 排水する。

2 加熱槽・水槽の汚れを水に浸した柔らかい布で拭きとる。

お願い

●加熱槽には、金属ブラシやクレンザーなどを使わないでください。フッ素樹脂加工面にキズがつき、故障の原因となります。
●加熱槽の底穴の部品はゴムホースです。棒などでつつかないでください。

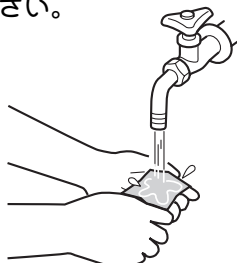
1週間に1回以上お手入れ

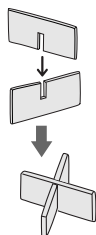
スチーム吹出しノズルのお手入れ

●水洗いしながら柔らかい布で拭きとります。

送風ガイドのお手入れ

●水洗いしながら柔らかい布で拭きとります。

ゴムパッキン
＊破れたり、劣化したら交換してください。お買上げの販売店でお買い求めください。

水あかとりフィルターのお手入れ

●水道水で手もみ洗いします。
●強く引っぱったり、ブラシでこすったりしないでください。
●破れたときは、新しい水あかとりフィルターと交換してください。

お願い

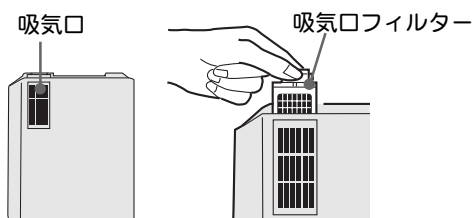
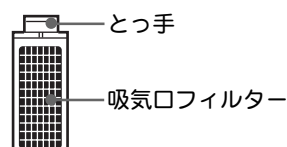
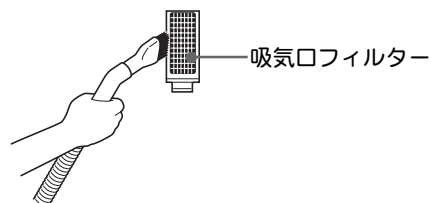
※お手入れ後は、次の手順で本体に装着してください。
①上下の切込み部を合わせ差し込む。
②送風ガイドの上から落として加熱槽の中に入れる。

●水あかとりフィルターは消耗品です。破れたり、紛失した場合は、お買上げの販売店でお買い求めください。（予備が1個入っています。☞7ページ）

1ヵ月に1回以上お手入れ

吸気口フィルターのお手入れ

※ 1ヵ月に1回程度、お手入れをしてください。

1 本体を逆さにして、吸気口フィルターを取り出す。

●ケースフタ・タンク・スチーム吹き出しノズル・送風ガイド・水あかとりフィルター･水あか除去カートリッジを外して、排水してから逆さにしてください。

●吸気口フィルターのとっ手を持って引き抜いてください。

2 吸気口フィルターのホコリを掃除機で吸い取る。

●汚れがひどいときは水洗いし、日陰で乾かしてください。

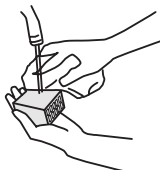
3 吸気口フィルターを吸気口にセットする。

お願い

●汚れがひどくなるとスチームの出方が弱くなったり､正しい湿度検知をしなくなりますので、1ヵ月に1回程度お手入れをしてください。
●吸気口フィルターを外したまま使わないでください。

お手入れのしかたつづき

水あか除去カートリッジのお手入れ

1 **柔らかい布で水洗いし、表面の水あかを取る。**

2 **再生処理をする。**

①容器に食塩を約90g（カップ半分）と水道水を約900mL（カップ５杯）入れ、食塩水を作る。

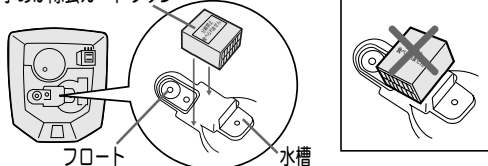
②水あか除去カートリッジを食塩水に約３時間浸す。

お知らせ

●定期的に食塩水に浸すことによってカルシウム・マグネシウムを除去する効果が持続します。（1ヵ月に１回程度）

③容器に水道水を入れ、2～3回ふり洗いしてすすいだ後、容器から出して網部を下にして約５分間放置し、水を切る。

お願い

●お手入れ後は文字が書いてある面を上または下にして、網の部分がフロート側及び水槽側になるように装着してください。

水あか除去カートリッジについて

●中に入っている粒状の樹脂の作用により、水道水の硬度成分（カルシウム・マグネシウム）を除去し、水あかを減らします。

●ご使用を続けるうちに効果が落ちてきますので、1シーズン（約6ヵ月）ご使用後に1回程度交換することをおすすめします。

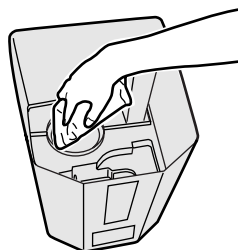
＊ご使用頻度や、地域の水道水の成分構成により効果が持続する期間が短くなることがあります。

●交換用のカートリッジは、お買上げの販売店でお買い求めください。

●交換したカートリッジは、そのまま不燃物として廃棄してください。

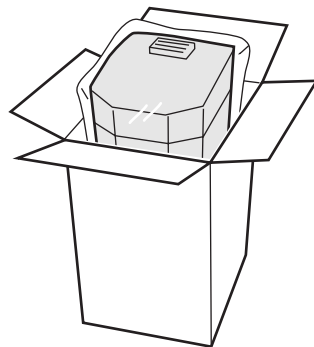
保管のしかた

※シーズンオフなどでおしまいになるとき

1 **お手入れ後、本体の水を拭きとり、日陰で乾かす。**

●湿ったまま保管すると、カビの原因となります。

2 **水あかとりフィルターの水をよく切り、日陰で乾かす。**

3 **水あか除去カートリッジのお手入れをした後、網部を下にして放置し、水をよく切り日陰で乾かす。**

4 **包装箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、湿気の少ない所に保管する。**

⚠警告

分解・修理・改造はしないでください。

●火災・感電・ケガの原因となります。

修理を依頼される前に

●修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	直し方
蒸気が出ない。	●コードセットは接続してありますか。	●正しく接続してください。
	●給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	●タンクに給水してください。
	●タイマー運転をしましたか。	●再度運転スイッチを入れ直してください。
	●運転スイッチを「入」にした直後ではありませんか。	●蒸気が出るまで約2～3分かかります。
	●設定湿度を「連続」にして運転し、約5～10分後にスチーム吹出しノズル上部約30～40cmに鏡をあててみてください。	●鏡がくもれば、蒸気が出ています。お部屋の温度・湿度が高いと蒸気が見えにくい場合があります。
蒸気の出が悪い。	●吸気口フィルターにホコリが詰まっていませんか。	●吸気口フィルターのお手入れをしてください。
運転スイッチを「切」にしても風が出る。	●本体の温度を下げるため、加湿運転停止後も約20分間送風ファンが回って風が出ます。	
給水ランプが点灯したのに風が出る。		
湿度設定ができない。	●給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	●タンクに給水してから、設定してください。
パワー切換ができない。		
タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯している。	●傾いた場所に設置していませんか。	●水平な場所に設置してください。
	●フロートに水あかやゴミが溜まっていませんか。	●フロートの掃除をしてください。
	●使い始めや、タンクに給水した直後は、水が加熱槽に溜まるまでに1～2分かかります。	
スチーム吹出しノズル以外から蒸気や水が漏れる。	●スチーム吹出しノズル、ケースフタ、タンクが正しくセットされていますか。	●正しくセットしてください。
	●吸気口がふさがれていませんか。	●ふさいでいる物を取り除いてください。
蒸気がにおう。	●古い水を使用していませんか。	●「お手入れのしかた」に従って、器具の掃除をし、新しい水と入れ替えてください。
	●水あかやゴミが溜まっていませんか。	
運転中に沸騰音がする。	●加熱槽内で沸騰する音です。	●故障ではありませんのでそのまま使用してください。 ●お手入れをしないと、加熱槽内に水あかなどが沈殿し、沸騰音が大きくなることがあります。☞13ページお手入れのしかたに沿ってお手入れをしてください。
「ポコ」「ポコ」音がする。	●タンクから給水する音です。	
運転スイッチを「切」にしても操作部にぬくもりを感じる。	●電子部品の放熱によるものです。 ●電源プラグを差し込んだ状態では、電子回路を動作させるために約2Wの電力を消費しています。	

●以上のことをお調べになり、それでも直らない場合は、電源プラグを抜いて、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

アフターサービス

保証書

●保証書は、この取扱説明書に付いております。お買上げの際に、販売店より必ず保証書の「お買上げ年月日」「販売店」欄等の記入をお受けください。

保証期間

●保証期間はお買上げ日より1年間です。正常な状態でご使用いただきながら、保証期間内に故障した場合は、保証書の記載内容により、お買上げ販売店が無料修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店にご相談ください。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間

●当社はこの加熱スチーム式加湿器の補修用性能部品を製造打切り後、6年保有しています。
●補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

●修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店または19ページの全国サービスネットワークをご覧のうえ、お近くの当社サービス窓口にご相談ください。

仕様

形名		AH-75GD
電源		単相100V　50-60Hz
加湿量	強運転時	750mL／時
	弱運転時	360mL／時
連続加湿時間の目安	強運転時	約7.2時間
	弱運転時	約15時間
消費電力		545W
タンク容量		約5.4L
適用床面積の目安		木造和室21m²（13畳） プレハブ洋室35m²（21畳）
コード長さ		1.4m
寸法（高さ×幅×奥行）		37.5×23.4×26.4cm
質量		3.8kg

※加湿量・連続加湿時間は、室温20℃・タンク満水時の場合です。

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

このような症状はありませんか？
●加湿器本体が異常に熱いとき。
●電源コード、電源プラグ、マグネットプラグ、コンセントが異常に熱いとき。
●通電中にこげ臭いニオイがする。
●その他の異常や故障がある。

ご使用の中止
故障や事故防止のため、すぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口に点検・修理をご相談ください。

全国サービスネットワーク

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買上げの販売店へお申し付けください。転居や贈答品などでお困りの場合は、最寄りの当社サービスセンターへご相談ください。

テレフォンサービス　☎044（857）3000　☎0723（32）3841

URL　http：//www.fg-cs.co.jp

北 海 道 地 区

●サービスコールセンター札幌

北海道全域

☎　011（251）1858（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

北海道サービスセンター
☎011（241）4622（代）　〒060-0007　札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1笹本ビル

サービスステーション

旭　川　☎0166（22）0171（代）　〒070-0054　旭川市4条西1-2418

東 北 地 区

●サービスコールセンター仙台

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島地区

☎　022（239）5233（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

仙台サービスセンター
☎022（239）5106（代）　〒983-0034　仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号

サービスステーション

青　森　☎017（722）9012（代）　〒030-0813　青森市松原1-5-5サンシャインプラザ松原B-101
盛　岡　☎019（638）5130（代）　〒020-0891　岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目9番5号
秋　田　☎0188（67）1281（代）　〒010-0972　秋田市八橋田五郎1-12-51
山　形　☎023（633）2611（代）　〒990-0071　山形市流通センター2丁目11-5
郡　山　☎024（922）5570（代）　〒963-8851　郡山市開成2丁目37番23号

首 都 圏 地 区

●サービスコールセンター東京

東京地区

☎　03（3856）6091（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

静岡・神奈川・埼玉・千葉・茨城・山梨・群馬・栃木・長野・新潟地区

☎　044（861）7700（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

東京第一サービスセンター
☎03（3864）9331（代）　〒111-0051　東京都台東区蔵前4丁目18番6号蔵前柴田ビル

大宮サービスセンター
☎048（668）4812（代）　〒330-0031　さいたま市吉野町2丁目202番地1号

柏サービスセンター
☎0471（67）7163（代）　〒277-0023　柏市中央1丁目9番2号久保ビル1階

サービスステーション

千　葉　☎043（266）6151（代）　〒260-0843　千葉市中央区末広5丁目11番9号
宇都宮　☎028（662）8221（代）　〒321-0912　宇都宮市石井町2578番地
高　崎　☎027（328）0711（代）　〒370-0831　高崎市新町6番19号
新　潟　☎025（271）2251（代）　〒950-0863　新潟市卸新町1丁目842番地28

川崎サービスセンター
☎044（861）7825（代）　〒213-8502　川崎市高津区末長1116

東京第二サービスセンター
☎0422（53）6709（代）　〒180-0014　武蔵野市関前3丁目15番10号秋山ビル1階

横浜サービスセンター
☎045（944）3900（代）　〒224-0007　横浜市都筑区荏田南5丁目18番53号

サービスステーション

多　摩　☎0426（36）5697（代）　〒192-0914　八王子市片倉町311-1リーベ片倉1階
松　本　☎0263（27）3246（代）　〒390-0843　松本市高宮南8丁目12番地松本丸和ビル1階
静　岡　☎054（247）3411（代）　〒420-0804　静岡市竜南3丁目17番22号
浜　松　☎053（464）0068（代）　〒435-0048　浜松市上西町35-5

中 部 地 区

●サービスコールセンター大阪

愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井地区

☎　0723（32）3311（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

名古屋サービスセンター
☎052（775）1847（代）　〒465-0028　名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地

金沢サービスセンター
☎076（291）2354（代）　〒921-8014　金沢市糸田1丁目71番地

サービスステーション

三　重　☎059（232）7407（代）　〒514-0102　津市栗真町屋町1709番地

近 畿 地 区

●サービスコールセンター大阪

大阪・京都・和歌山・奈良・兵庫・滋賀地区

☎　0723（32）3311（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

大阪サービスセンター
☎06（6304）1593（代）　〒532-0012　大阪市淀川区木川東2丁目2番10号

松原サービスセンター
☎0723（31）9281（代）　〒580-0004　松原市西野々2丁目1番45号

サービスステーション

京　都　☎075（681）3190（代）　〒601-8342　京都市南区吉祥院東前田町6番地

中 国 ・ 四 国 地 区

●サービスコールセンター大阪

広島・岡山・鳥取・島根・山口・香川・徳島・愛媛・高知地区

☎　0723（32）3311（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

広島サービスセンター
☎082（503）5118（代）　〒733-0034　広島市西区南観音町17番9号

高松サービスセンター
☎087（885）1111（代）　〒761-8084　高松市一宮町258番の1

サービスステーション

岡　山　☎086（244）4217（代）　〒700-0975　岡山市今1丁目13番33号
松　江　☎0852（21）9014（代）　〒690-0015　松江市上乃木9-2-17シェルブラン102
松　山　☎089（934）0857（代）　〒790-0952　松山市朝生田町7-1-32

九 州 地 区

●サービスコールセンター福岡

福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄地区

☎　092（542）0500（代）
FAX　0120-070-220（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）

福岡サービスセンター
☎092（552）1435（代）　〒815-0031　福岡市南区清水2丁目9番29号

サービスステーション

北九州　☎093（921）4572（代）　〒802-0064　北九州市小倉北区片野4丁目3-18木村ビル1階
大　分　☎0975（58）1524（代）　〒870-0907　大分市大津町1-14-2
熊　本　☎096（360）3981（代）　〒862-0913　熊本市尾の上4丁目11-47号ミヒロビル
鹿児島　☎099（254）6505（代）　〒890-0073　鹿児島市宇宿3丁目17番13号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

（平成13年6月現在）

株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地

FUJITSU

加熱スチーム式加湿器保証書 持込修理

形　名		AH-75GD		
お客様	ご芳名	様		
	ご住所	〒□□□－□□□□　TEL　（　）		
無料修理保証期間		お買上げ年月日 年　月　日から	本体	1年間
販売店		店名・住所・電話		

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
上記「無料修理保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店に修理をご依頼ください。

- 所定事項記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりませんから、もし未記入の場合は、すぐにお買上げ販売店へお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買上げ販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げ販売店に修理依頼ができない場合には、全国サービスネットワークをご覧のうえ、お近くの当社サービス窓口へご相談ください。
- 保証期間中でも、次の場合には、有料修理になります。
  （イ）使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
  （ロ）お買上げ後の転倒、落下などによる故障及び損傷。
  （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
  （ニ）接続する他の機器の異常により生ずる故障及び損傷。
  （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
  （ヘ）本書のご提示がない場合。
  （ト）本書のお買上げ年月日、お客様名、販売店名欄の記入または押印がない場合、あるいは字句を書き変えられた場合。
- この商品（持込修理の対象商品）について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、当社サービスセンターなどへ送付された場合の送料は、お客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
  This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

＊本書はこれに明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または当社サービス窓口にお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

株式会社 富士通ゼネラル　〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地　☎044（866）1111（代）